

4 小松ふれあいの会



サロンのテーマ・目的

小松1,2,3丁目には、公民館、児童館が建設されており、施設は整備されています。公民館脇には、公園と広場があり、町民の老若男女の集会の場、生涯学習の場として平成11年より町内のみの公民館まつりを実施し、三世代交流会を目的にしています。

開設年月日 平成13年4月1日

開催拠点 小松町公民館

連 絡 先 TEL: 029-821-6920

FAX: 029-821-6920

代表 者 広瀬 弘

1回の参加人数 平均60人 (三世代交流会等は200人

を超すこともあります。)

1回運営スタッフ数 平均 15人

利用料(参加費) なし

年 間 予 算 額 200,000円

(平成20年度実績) (内訳) 助成金 30,000円

自主財源 170,000円

活動の概要

モデル福祉町内会から出発したので,できるだけ 多くの町民に出席してもらうよう,人数に制限がないときは、町内会の回覧で回して会員のみでなく, 多くの人に呼びかけています。

特に一人暮らしの高齢者に喜んで参加していただけるように心掛けています。

身近な人材や施設など地域の社会資源の活用

町会役員10名,長寿会役員5名,民生委員5名, 育成会役員5名のほかに,地域の協力団体(JA女性部,婦人学級,長寿会,育成会,更生保護など),会員総数は77名となります。

土浦市の出前講座の活用、地域に住んでいる人に 講師をお願いしています。

サロンの特徴

モデル福祉町内会として発足したので、補助金も減少しているが、できるだけ多くの町民に声をかけ、 参加してもらうように努めています。

また,三世代交流を目的としての生涯学習は,今 後も継続できるよう努めます。







サロン実施にあたって苦労したこと

【人集め】

子どもは外で遊ばず塾通いで多忙,子ども会に加入しない家庭が多くなり,大人は自分の趣味活動以外に目が向かず,地域行事には無関心。そんな社会情勢の中で,一地域がボランティアグループを立ち上げようとしたのは実に大変なことでした。

町内で、集まりを持ち活動している(グループ・ 団体)個々に声をかけ、何回も会合を開いて、町会 の役員も含めて会員70余名集まった時は本当にあり がたかったです。

活動拠点

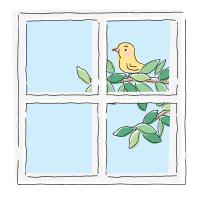
街の中央に町内の公民館があり、町民が一番親しみやすい場所です。

財源

町会運営が円滑であり、町会の予算より年20万円程度は確保できるので、財源には困っていません。

サロン開催の効果

- 各団体とも打ち解けたお付き合いをするようになり、友達が増えています。
- この組織そのままが、町内行事の担い手となることもあります。
- 町会の運営に対して、町民の生の声が届くようになり、活気が出たと思います。
- サロンの行事によっては、開催日を町内の回覧で 町民全員に知らせることもあります。



サロン開催の課題,今後のサロン活動への想い

ボランティアとは、公が行う事業や大きな仕事を 手伝うものと思っている向きもあり、一地域で目立 たない、地味な活動をしてくれる人が少ないのは悲 しくもあり残念です。

若い層、中年層、60歳前後の人たちは、仕事を持っている人が多く、活動への加入は非常に難しく、後継者が育たないのが不安です。



Sin

委員からのプレゼント

とても和やかで、笑顔の絶えないひとときを 過ごせて、参加されていた多くのお年寄りの皆 さんが、毎回楽しみだとおっしゃっていたのが よくわかりました。毎回、次は何をやろうかと みんなで何回も話し合って、少しでも「来た甲 斐があった」、「小松地区に住んでいて良かった」 と思ってもらえたらうれしいと話しておられた ボランティアの皆さん、素晴らしいと思います。

毎回確かな絆を深められておられるんだろう な、と実感しました。小松地区の皆さんは、間 違いなく安心して暮らしていけるはずです!!と てもうらやましく感じました。小松ふれあいの 会の皆さん、これからもお元気で長く続けて いつてくださいね!!

(窪谷 吉央委員)